

ユース栃木 BCスキートレーニング山行報告

- 1 期 日：令和7(2025)年5月12日(月)
- 2 場 所：尾瀬 燧ヶ岳
- 3 参加者：渡邊雄二、高野正道、林祐寿
- 4 行 程：御池駐車場(8:20)～広沢田代(9:35)～熊沢田代(10:55)～2180m地点(12:00-12:30)
～広沢田代(13:10)～御池駐車場(13:30)
- 5 行動概要

4月の本部ユースとの交流山行(谷川・芝倉沢)では、気温上昇により雪のコンディションが悪く、雪崩デブリにも遮られ思うような登高と滑降ができなかったこともあり、改めてBCスキートのトレーニング山行を行った。前日は高原山の山開きがあり、渡邊支部長と高野さんはそこから2日連続の山行となり、その体力と行動力には敬服するばかり。

天候は霧雨だが、回復を期待しながら行動開始。雪はこの冬の豪雪のお陰でしっかり残っている。スキーは渡邊支部長と林で、スキーではない高野さんは別行動となる。しばらくは緩やかな斜面だが、スキー登高に慣れない自分はペースが上がらない。そこから急傾斜になると斜行トラバースとキックターンで進むが、あまりの急角度にスリップしそうになる。もがきながら、何とか広沢田代に出る。田代の名のとおり、だだっ広い雪原が広がるが、ガスっているため広すぎてどこを進んでいるのか分からなくなる。スマホのGPS地図をこまめに見てルート修正しながら進む。しかし、GPS地図はなんと便利なものなのか。このような状況下では紙地図で自分の位置を特定して進むのは困難だと思う。これに頼りきりになるのは危険だが、有用なツールであることには違いなく、読図のスキルは持ったうえで、上手に使うべきかと思う。何度か小休止をはさみながら着実に進むが、なかなかペースを上げられない。前についていくのがやっと、である。2180m地点まで登ったところで目標の12:30となりタイムアップ。山頂まではあと高度150mくらいだが、天候も回復しないのでここから下山することにした。滑降の準備をしていると、先行していた高野さんが山頂から降りてきて合流できた。いよいよ滑降だが、自分はスキー自体しばらくブランクがあったので、なかなか難しい。必死?の思いでついていく。樹林を抜けながらなので、転ばないように、ぶつからないよう慎重に慎重に滑る。ルートをスマホで確認しながら進むが、滑っているうち気づくとルートを外れている。BCスキーでの遭難がたびたび報道されるが、気持ちよく滑っていると簡単にコースを外れ、遭難につながる危険性を身にしみて感じた。今日のようにガスで風景を確認できないとなおさらだ。ルート確認しながらスピードを出さず慎重に滑る。しかしかなりの急傾斜面でスリップし、すぐには止まらず滑落してしまった。幸いケガはなかったが、山スキーはとにかく転ばないことの鉄則を改めて肝に銘じることになった。広沢田代でルート確認していると、高野さんが追い付いてくる。スキーでないのに驚きのペース。ここからはまた樹林の急斜面となり、転ばないようにコースを選びながら慎重に滑る。何とか転ばず滑りきり、傾斜が緩くなったら御池駐車場は目の前だ。

今回のトレーニング山行は、天候もすぐれず初心者の方にとって厳しい条件だったが、山スキーの楽しさと難しさの両面を肌で感じることができ、とても学びの深い山行となった。ご同行いただいた渡邊支部長と高野さんに感謝申し上げます。(記録：林)

